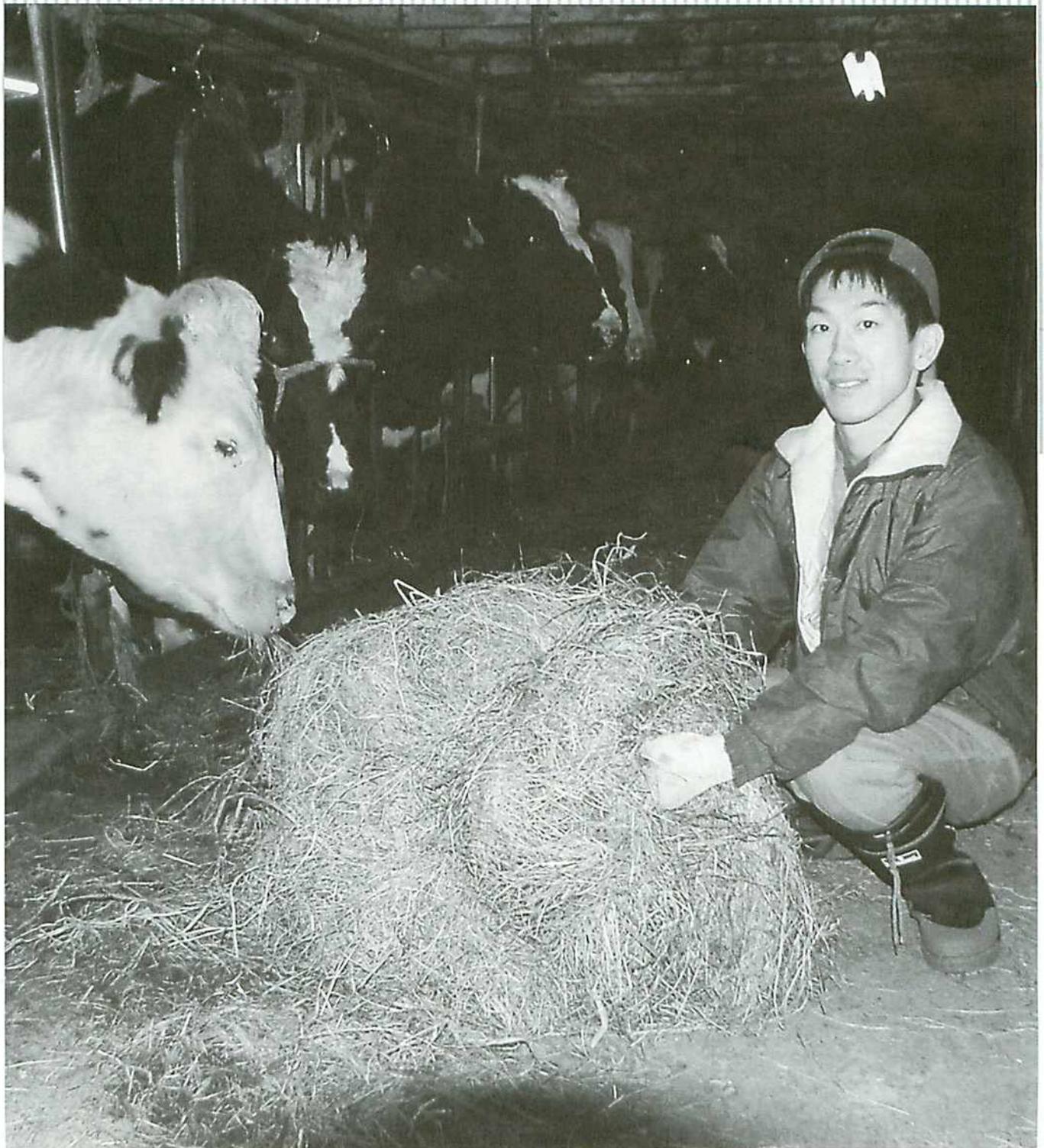


あなたとJAをむすぶ情報誌

# なかしべつ

2003  
**12**月  
No.348

「酪農の知識・技術を身につけ、早く戦力になりたい」と話す鈴木智之さん



# 津町農業協同組合女性部創立50周年記念式典



功労者には感謝状と記念品が...



式辞を述べる横田部長



功労者、来賓らの胸には手作りのコサージュが輝きます

## 50年を振り返り厳かにかつ盛大に 記念式典が開催されました

十一月十一日、町内寿宴に於いて、JA中標津女性部の創立五十周年記念式典が、部員・来賓など合わせ百六十人強の参加をもって盛大に開催されました。

三年がかりで記念式典のために、役員ら準備委員の方々によって企画・運営され、準備委員会を数度となく聞き、式典の開催はもろろんのこと、記念誌の発行・記念事業の実施（五月に奉仕活動を実施済）・記念品の選定・来賓らに付ける手作りコサージュなど、女性部ならではの温かさを演出するべくこの日に至りました。

当日はすこぶる晴天の下、女性部員全百六十人のうち八割が出席とい

う、その参加数から部員それぞれの五十周年に対する意識の高さが伺えました。

式典は金子副部長の総合司会で、五十年の歴史の中で活躍された女性部員物故者への黙禱に始まり、横田純子部長の式辞は、五十年という時代背景ともある女性活動並びにこの五十周年を機に、部員それぞれに意識変換を図らねばならない時代



弾正原さんの生けた花で一段と華やかに...



依橋地区の「ヒゲダンス」



役員らによる捨て身の余興???



第二俣落地区の「五十周年お祝いダンス」  
武佐地区の「スコップ三味線」



# 同組合女性部創立50周年記念式典



武佐地区の「おこさ節」



俣落地区「私達は誰でしょう?」

当幌地区の「幼なじみ・体操」



## JA中標津女性部創立50周年記念式典



開陽地区のペーパーサート

続いて、五人の来賓祝辞を頂戴したのちに、役員及び事務局功労者の表彰が行われ、感謝状と記念品がそれぞれ手渡されました。また、功労者を代表して酒井拓子さんより（五代目部長）謝辞が述べられました。その後、「五十年のあゆみ」と題し、これまでの女性活動の古き懐かしき写真の映像が映し出され、部員等の若き頃の映像に会場も和み、式典が終了しました。

続いて祝賀会が同会場に進められ、ここからが部員皆さんの本番！（笑）JA北海道中央会平山雅彦支所長の乾杯により祝賀会が始まり、アトラクションまでのひとときを、テーブル一杯に並べられた料理とおしゃべりで過ごしました。

さて、いよいよ部員みなさんが五十周年にかけて、各地区ごとに密かに練習が行われてきた総力がお披露目される時間です。各地区分けて歌に踊りに演奏にと、盛りだくさんの

プログラムで、中には恥じらいや知性・教養などをかなぐり捨てたかのような？（笑）演目が目白押しとなり、会場は笑いのどつぼと化しておりました。こんなにも個性溢れる部員が多いこと、活気ある組織であることが再確認された一時でもありました。

宴は終盤となり、これまで十一年と長きにわたりご功労いただいた横田部長が、規約改正により今期で部長任期を満了することから、女性部員一同より感謝状と記念品が手渡され、弾正原副部長の閉会挨拶・藤井美智夫副組合長の万歳三唱で散会となりました。

五十周年を節目に活動の原点に戻り、更なる組織の活性化を目指し、部員皆さん自身が、家族が、地域が、笑顔で元気でいられるよう益々輝いていって欲しいものです。

「JA中標津女性部創立五十周年おめでとうございます！」



中標

カラオケで熱唱する遠藤美智子さん（俣落）



第2俣落地区のコーラス



大正琴を奏する俣落地区 笠原さんと渡辺さん



中標津地区の真実味溢れる「人生相談」

# 趣向をこらし、取り組み大成功！

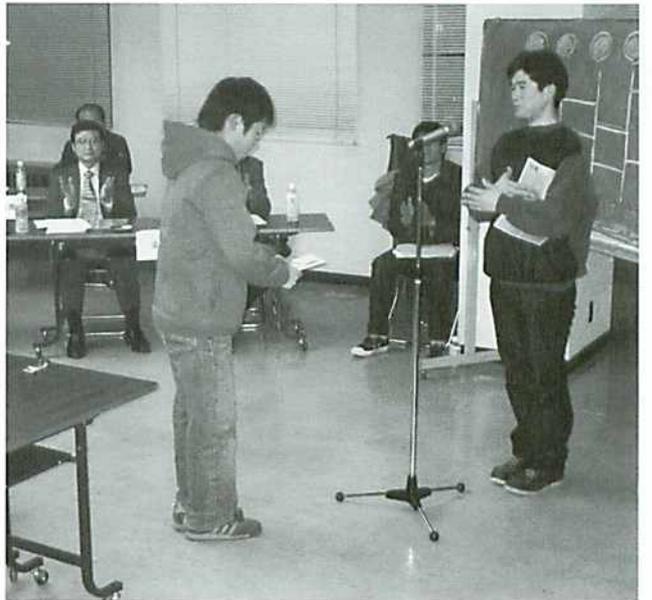
11月17日(月)、夜8時より「第1回農政・組織研究発表大会」が、青年部農政・組織研究委員会の主催で行われました。各支部、さまざまな内容で春から半年間取り組んだ学習成果を発表し、順位を競いました。

## 各支部さまざまなテーマを掘りさげて

大会は十一月号で農協だよりの表紙を飾った、長正路健二君の司会により進行しました。大会委員長を務めた私の開会宣言で始まり、来賓の普及センター広瀬所長の挨拶、高橋勝義組合長の基調講演となりました。約二十分の講演では、「若い時には自分の自由出来るお金が誰でも少ないもの。私もそうだった。そんな中でも、青年部の活動で管外に出た時には、カプセルホテルを利用したりして宿泊費をケチり、全道の仲間達と交流する費用を捻出し、様々な議論をしてきたのは、今の自分にも生かされている大切な財産である」と話され、若い時の苦勞、活動のヒン



劇団依っ子による依橋支部の寸劇



接戦の末、武佐支部が1位になりました

トを伝えていただきました。また、「暇な時間があれば農協に足を運んで、いろいろな話を職員として欲しい」とも話され、部員に酪農の楽しさやこれからの情勢の厳しさなど、わかりやすく講演されました。その後、昼に決定した「あみだくじ」の順番によって俣落、依橋、武佐、開陽、当幌と発表が進みました。各支部発表がそれぞれ終わった時に会場から質問され、言葉に詰まる一幕もありましたが、パソコンを駆使し、グラフなどを組み合わせ趣向をこらした発表でした。特に依橋支部は、「WTO」という難しいテーマに寸劇を組み合わせるという方法で、会場を沸かせました。

その後の表彰式では一位||武佐支部(六十点満点の五十二点)、二位||依橋支部、三位||俣落支部、四位||開陽支部、五位||当幌支部という結果になりました。

どの支部も、もう少し発表練習ができていれば結果は違ったかもしれませぬ。総評として根釧農業試験場の水島場長にコメントをいただきました。最後に青年部、佐々木部長の閉会宣言で全ての日程が終わりました。

今回、初めての試みにも関わらず、出席した部員の多さに大変驚きました。ぜひ、来年度も「第二回」が開催されるようにと思います。

提案になりますが、支部単位の発表の他に個人の部も設けて、「青年部と自分」などといったテーマで三分程の発表を行い、一人でも多く壇上に立てるようにしてみてもいいと思います。

反省点としてはマイクの調子が悪く、流れが止まってしまう場が度々あった事、弁当を食べる時間が人によって無かったくらいでしたので、上出来であったと思います。会場の雰囲気も良く、聞く態度も良かったです。

春先から「プロジェクトの成功」を合言葉に進めた今大会。各部員、支部とも協力し、良き事業となりました。参加された皆さん、委員の皆さん大変ご苦勞様でした。(▼記「農政・組織研究委員長・筒井辰也」)

# 経営ビジョンをどう描く！

●根室地区JA青年部大会



ファームデザインズの理念を紹介した海野氏

「遊びが仕事の原動力」―生活をエンジョイするために―とした氏の取り組みを紹介いただきました。

十六年前に新規就農し、立地や背景からF.S.、高泌乳を追求してきた氏は、酪農のすばらしさ、飾りや偽りのない、本当の現場の姿を理解してもらおうような環境作りを課題に、二〇〇〇年八月に牧場内にアメリカカントリーのカフェレストラン「ファームデザインズ」をオープン。「観光牧場、体験牧場」にありがちな作られた世界で酪農の良い部分だけを見せ、非科学的な感情論で牛乳をアピールするのではなく、科学的理論を踏まえ、それぞれの土地条件や背景を考えて科学的に経営していくことが、消費者に強力な支援を得られることではないか」と主張されました。

その後、四分散会に分かれて農業の支援システムについての意見交換・討論が行われ、参加した我が青年部員は活発な意見を述べていました。

JA根室地区青年部連絡協議会の根室地区JA青年部大会が十八日、寿宴で開かれ当農協青年部からは、役員ら合計八人が参加。管内全体では百余名の青年部員が参集し、今大会テーマの「Challenge」経営ビジョンをどう描く！―に対して様々な討論が行われました。

WTO農業交渉、FTA交渉など私たちの経営に直面する話題が山積する中で開かれた今大会は、基調講演に浜中町の旬ファームデザインズ代表取締役海野泰彦氏を迎えて、



討論に真剣な参加者



地区から総勢九十余名が参加、酪対が企画しているJA中標津杯ともちよつと違って真剣な中にも、試合中に相手チームと対話しながら（ヤジも言い合いながら）、笑いあいの楽しい試合ができました。

どこのチームも何日も前からこの日のために練習してきた強者達で、完成度の高い試合展開に汗を流しながら一生懸命にボールを拾っていました。試合結果を見ると、依橋勢がどちらの部門でも上位に多数入賞しており大変健闘しました。是非、来年も企画して多くの組合員が参加して欲しいです。

十一月二十六日、中標津町営体育館で、農協青年部が企画した組合員、農業関係者（ファーム・エイ、北根室地区農業改良普及センター）だけのミニバレーボール大会「タイトル第一回農協青年部杯チキキソフトバレーボール大会」が行われ、男性の部、混成の部とも各八チームが参加して熱戦を繰り広げました。

この大会、親睦を図ることと日頃の運動不足解消を目指して企画したもので、他にはない大会を目指してコスプレ賞も団体・個人に用意。各

- ◆試合結果◆（ ）内は代表者名
- ▼混成の部・優勝▶ 依っこSチーム（森島靖雄）、二位▶ TSC-A（村上洋史）、三位▶ 依橋バトラーズ（金子安一）
- ▼男性の部・優勝▶ 依っこC（高嶋敦志）、二位▶ 依っこD（中村正夫）、三位▶ 農協青年部開陽支部（櫻井寿治）
- ▼コスプレ賞▶ 個人・団体とも該当者なし。
- （記事）▼農政・組織研究委員▶ 山本大

## スポーツの秋を体汗

●JA青年部企画ソフトバレーボール大会

ねむろ農村女性フェスティバル

農から始まる豊かな未来!

十一月二十日、中標津町「寿宴」にて、農から始まる豊かな未来! をテーマに第四回ねむろ農村女性フェスティバルが開催され、管内の



各グループの試食品で昼食会

農村女性ら関係者約百三十人ほどが一堂に介しました。

午前中は、「農村女性へのメッセージ」と題し、近隣在住のお三方による講演や、参加各グループの手作り加工品がテーブルいっぱいになべられた試食&昼食会が行われました。また、昼食終了後は、各グループの活動展示・実演・販売などが行われ、参加者同士の情報交換・交流の場が持たれました。

今回、J A 中標津食品加工交流部会員は、初のグループ参加を果たしました。地場産品のPRを兼ねた手作り加工品の試食展示を行い、自家野菜の大根と中標津ビーフすね肉の煮物・大根皮のキンピラ・とうきびアイスクリームを出品し参加者に試食していただきました。

管内の農村女性がグループ活動などを通して「農」から始まる豊かな未来! を求め、それぞれが努力するハツラツとした姿勢が多く見受けられ、情報交換はもちろんのこと参加者相互の刺激となる交流が図られた有意義な一日となりました。



でき具合、味にみんな満足です!

中標津食品加工交流部会長 長正路会長の指導のもと行われました。

今回の交流会の趣旨は、いち中標津町民として地場農畜産物を利用した加工体験を通して町の基幹産業である農業への理解を深め、地産地消などに役立てたい(主催者代表)というもので、牛乳・乳製品のほか、中標津ビーフ、馬鈴しょ、大根などをふんだんに利用した三品の料理・菓子パン作りに挑戦しました。家庭で手軽に作れるメニューとはいえ、参加した男性陣にとっては慣れない作業にお互いダメ出ししながらも(笑)、出来上がった料理を昼食として参加者全員で囲みました。

十一月十五日、農業農村交流施設「クレエ」にて、自治労中標津町職員労働組合青年女性部(中川由樹部長)が主催する加工体験交流会が、J A

手作り料理のおいしさ・楽しさ、また、地元中標津の良さを肌で感じながら、終始和やかな青年女性部交流会となりました。

クレエで加工体験交流

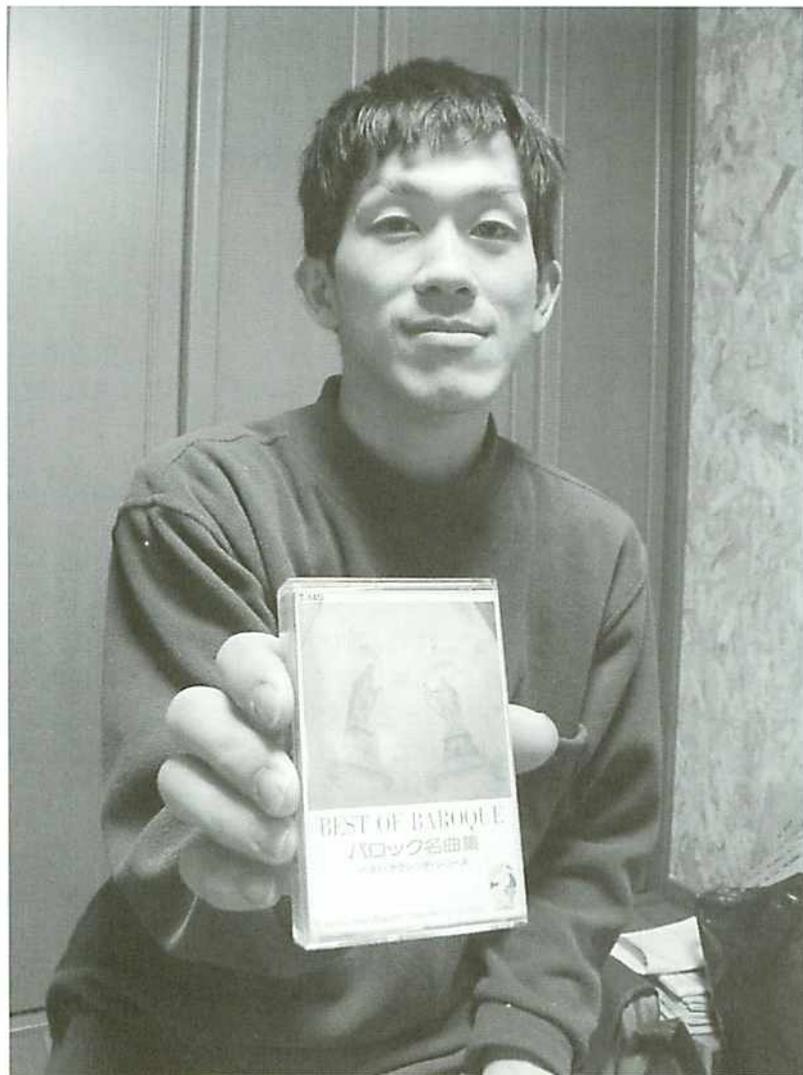
町職員らも「地産地消」の取り組み

開陽地区

すず き とも ゆき  
**鈴木 智之**さん

【パーソナルデータ】

家族構成・父=修、母=多美子、妹・弟。  
昭和50年1月26日生まれ。血液型=A B型  
星座=水瓶座。大型・普通自動車、作業  
免許、ホームヘルパー3級。



# 温厚・寡黙な中にも「芯」は強い!

今回は、開陽地区の鈴木智之さんをご紹介します。  
今、二十九歳の智之さんですが人柄がとても良く、  
私たち後輩からも慕われ、年齢差を感じないほどで  
す。私もいつもの呼び方で智之君と書かせていただ  
くことにします。

智之君は中学校卒業後、江別のとわの森三愛高校  
へ進学。卒業後に自衛隊へ入隊して六年間勤務しま  
した。温厚な人柄ながら、六年間も厳しい訓練に耐  
えて来られたからには「芯」は相当強いものがある



と、私は密かに思っています。自衛隊退役後は幾つ  
かの一般企業に就職しましたが、長男であることを  
自覚し、平成十三年十二月に実家に戻り鈴木牧場の  
後継者として尽力しています。

現在の活動は、青年部開陽支部では年齢的にちよ  
うど中間という事もあり、パイプ役として積極的に  
活動し、JA中標津青年部本部の活動では、消費拡  
大委員として活躍しております。

趣味を聞いたところ、少し悩みながら音楽鑑賞とい  
う答えでした。特にクラシック音楽を良く聴くそうで、  
写真のバロック楽集をお奨めしてくれました。

これからの目標については、「酪農業二年目なので、  
まずは基本的な知識と技術を早く身につけ、戦力と  
して認められるよう日々、頑張るのみ」と話してく  
れました。

また、当面の目標として、「お嫁さん探しもー」と  
考えているようなので、気になる方がおりましたら  
一度お話ししてみたいかがでしょうか。

寡黙な智之君ですが皆さん（特に未婚女性の方）  
宜しく願います。

▼取材者（農政・組織研究委員会）井上直人



おかべ たつや  
**岡部 達也**  
㈱Dynamic dairy

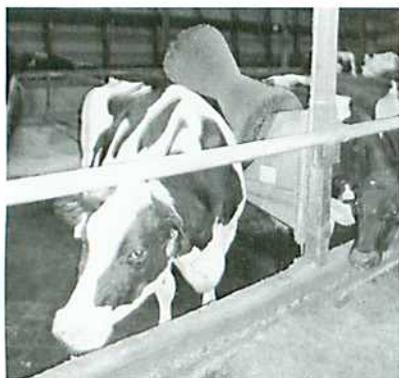
第8弾

宣言



いぬい もとき  
**乾 元樹**

酪農学園の短期大学を卒業して、すぐに後継者となるべく中標津に戻って以来19年。その間、飼養体系も変え、6年前にフリーストールとなった。そして昨年、両親より経営移譲。今年の1月からは㈱Dynamic dairyの経営者として運営に当たっています。社名は「おおらかな酪農を目指す」ことを意味し、乳質に対し、気を配っていること・力を入れている事は？と質問を向けると「牛が快適に暮らせるような仕組みをつくること」と究極の命題に日夜、情報収集を怠らないようにしていると言います。自分が戻ってから現在まで、様々な取り組みの中で、人の話をまず聞いて、その中で、良い物だけを取り入れていけるように、情報のアンテナを張る事は大切だと感じている。そして、その情報もやってみなければ何にもならないから、お金がかかることは、両親と相談してからするにしても、お金のかからないもの、例えば良いと言われる搾乳方法を試すと、か、まずやってみて失敗と感じれば、また、これも勉強でしょう。中標津に戻った頃と比べ、飼養方法も変わったし、飼養頭数も2倍以上になり、乳量は400ℓから1,500ℓ超になった。大量生産していても、多かろう悪かろうでは意味がないので質と成分には気を付けて、「酪農」のイメージを損なわないようなキチンとした管理を行っていき。少ない労働力でも経営状態を維持できるように、牧草収穫調整とふん尿散布の共同利用組合の構成員となった。だから、他の人よりも自分個人の仕事量はないかもしれない？と話すその方法が、今の経営に合致していたのだ。



牛の背中かき機も快適性を求めていること

近く、足を痛めている牛への配慮をと、ホールディングエリアにマットをひくことを考えている。若い青年部員たちは、搾乳することによって牛のいろいろな事がわかっていくので、真剣に搾乳に取り組むといいのでは？とのアドバイスも頂きました。

	平成14年度 現状	今後1年間の 目標
生菌数	0.3	0.1
<b>最重点目標</b> ◆	<b>体細胞数</b>	<b>24.7</b>
	F%	4.11%
	SNF%	8.88%
	P%	3.29%
	全固形	12.99%

年間を通じて同じ成分の牛乳を搾りたい

酪農学園大学を卒業し、今年の4月に実家に戻り、「後継者への道」を歩き出した乾元樹君のハイクオリティミルク宣言です。

本人曰く、「酪農家の息子として、いずれは後継者という気持ちはあったが、中標津の学生時代は両親が忙しい時にちょっと搾乳や収穫時期に手伝いをしていただけで、酪農学園大学在学中も、酪農のイロハを学ぶ学部ではなかったことから、今がほとんど、酪農1年生といっても過言ではありません。ルーキーズカレッジの学習は知らなかったことも教わる良い機会、牛の病気や伝染病についての講義が大変印象に残っている」と言います。搾乳、餌やり、昼間の管理作業。父と2人で牛舎に入って作業を行う中で、最近、搾乳していて、牛のちょっとした変化に気づくようになった。自分の勝手な判断になっても困るので、父の助言を聞き獣医を呼ぶなどの対応を行っています。

気を付けていることは体細胞の個体チェック、上がったものの早期治療に努めること。ならないような取り組みとしては乳頭をきれいにするため、1頭1頭タオルを替えて拭くようにし、汚れが多いのは、2枚、3枚と使って拭くように、また、過搾乳しないように気を付けています。今後、牛舎を新設する計画もあり、その時には自動離脱のパイプラインミルクカーに入れ替える予定。乳質向上に努め、体細胞20万以内にできるように餌の管理にも取り組んでいきたい。



ロールサイレージには採った場所と日付と水分が多かった、少なかったことを記録

	平成14年度 現状	今後1年間の 目標
生菌数	0.4	0.1
<b>最重点目標</b> ◆	<b>体細胞数</b>	<b>21.2</b>
	F%	4.08
	SNF%	8.57%
	P%	3.21%
	全固形	12.65%

現状維持

# 農家経営

## クミカンを活用した 経営分析

北根室地区農業改良普及センター

### 普及の窓

■ J A なかしべつ出張版

今月は、何かと多忙な月ですが、一年間の経営成果の反省および次年度の営農計画を樹立するための大切な時期です。今年一年の経営状況を把握し、去年に比べてどうだったか、計画に比べてどうだったかなどを分析し、我が家の経営の優れている点や弱点を知ることが、次年度以降の安定した経営に結び付けることが可能です。

#### 一、経営数字を読みやすくする

①時系列に数字の推移をみる  
三〜五年分のクミカン（十二月三十一日時点）の数字を並べて比較する。

②前年比などの比率、割合に置き換える  
クミカンでは常に前年比、計画比が分かる。

③百分比にする  
売上高を一〇〇とした各費用の割合など（表①）。

④構成比にする

費用計を一〇〇とした各費目の割合など（表②）。

⑤単位当たりにする  
一ヘクタール、一頭、生乳一トンあたりの収益、費用など。

#### 二、要因の分析をおこなう

これらの数字を使って要因を分析します。売上がなぜ増減したのか、費用がどうして増減したのかを的確に把握できれば、次年度以降の計画も立てやすくなります。

例えば、売上高に関しては「疾病などが多く、搾乳牛頭数が前年よりも減少した」、「乳成分が低く、乳価が低下した」、「前年の牧草収穫時期が遅れてサイレージの品質が悪くなった」、「育成牛の繁殖成績が悪く初産牛が減り、牛群の改良が遅れた」、「収益が共済金の収入で増加した」などを分析します。

費用では、「必要以上の飼料を給与している（自給粗飼料との組み合わせが好ましくない）」、「所有機械の老朽化により年々修理費が多くなる」、「どの草地でも同じ銘柄の化成

肥料を同じ量だけ使用しており、見直しすることによって肥料費の節約が可能」、「家畜糞尿の施用量分を化成肥料で減肥していない」などがわかります。

前年度の実績だけでは、計画数値の根拠とならない項目もあります。クミカン報告書をもう一度見直して、今年の反省と次年度の計画をしっかりと立て安定した経営を心がけましょう。

（単位：千円）

	A農場	比率	B農場	比率
売上高	50,000	100.0%	30,000	100.0%
飼料費	12,000	24.0%	12,000	40.0%
肥料費	2,000	4.0%	2,000	6.7%
修繕費	1,000	2.0%	2,000	6.7%

B農場では売上高（生乳生産量）に対して肥料費が多くなっている傾向がわかります。

（単位：千円）

	C農場	比率	D農場	比率
費用合計	50,000	100.0%	30,000	100.0%
飼料費	12,000	24.0%	12,000	40.0%
肥料費	2,000	4.0%	1,000	3.3%
修繕費	1,000	2.0%	2,000	6.7%

D農場では修繕費がやや高くなっていることがわかります。

# アイドル IDOL

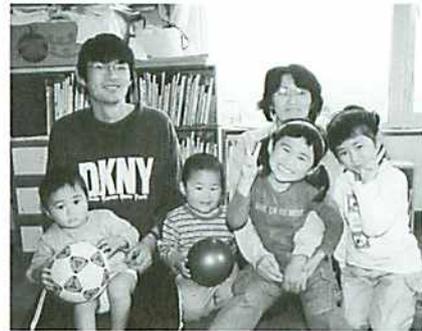
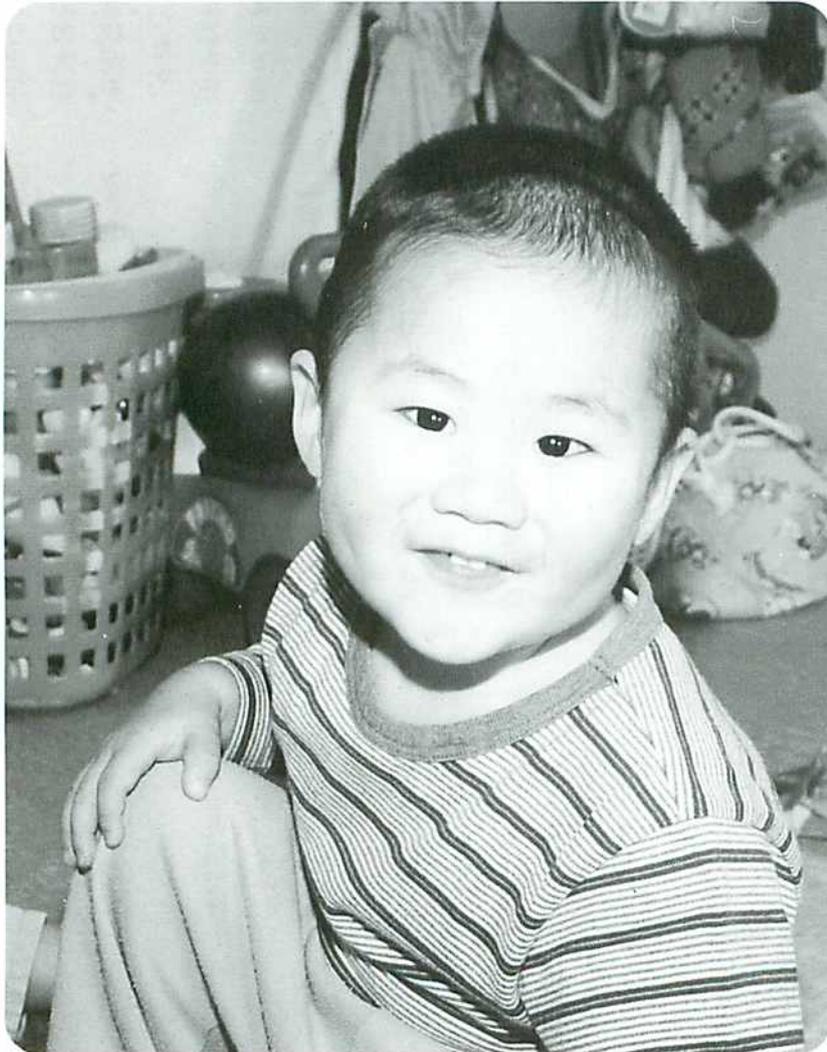


## 大家族! 幸せ一杯の尾崎家・長男登場!

二〇〇三年最終月を飾る今月の人気者は、第二侯落地区・尾崎広太郎さん宅三人目の登場となる長男・雪太郎君です。今年一番の冷え込みとなった取材当日、その寒さをみじんも感じさせない尾崎家の雪太郎君は、少しはにかみながらも元気に出迎えてくれました。

普段は、二人のお姉ちゃんが保育園に行っている間、弟の蒼次郎君と男同士仲良く遊んでいて、この日も二人でちよっとだけボールの奪い合いになったけれど、さすが! お兄ちゃんの雪太郎君はすぐに譲ってあげていました。お姉ちゃん達が帰って来ると、今度は四人で「イス取りゲーム」や、牛舎で「だるまさんが転んだ」などと、姉弟が多いだけに遊び方はバラエティ。姉弟の中の雪太郎君の特徴を尋ねると、一番のひょうきん者! と、お母ちゃんの孝子さん。

そういえば、年明けにちよっぴり大人の仲間入り? 満三歳となつて、この二月から保育園に通うことを今から心待ちにしている雪太郎君に、「今度生まれて来る赤ちゃん(四月に第五児出産予定)は、弟と妹どっちがいい?」と、尋ねると、「妹!」と、照れながら答えてくれました。



雪太郎君を含む尾崎家の子供達が伸び伸び育つ姿を見ると、私もこの家の子にな

りたい! と、そんな気持ちにさせる子育て上手な二両親。そして、二人のお姉ちゃんと弟と、四月に生まれて来る赤ちゃんと雪太郎君の周りは笑顔と愛で一杯!  
雪太郎君! お父ちゃんとお母ちゃんが望む、心身ともに健康で、いつまでも姉弟仲良くいられるよう幸せ一杯の尾崎家長男としてこれから頑張つてね!

### 尾崎 雪太郎くん

おざき ゆきたろう  
2001年1月16日生  
尾崎広太郎・孝子さんの長男として生まれる。

# 人工授精の上で大切なこと

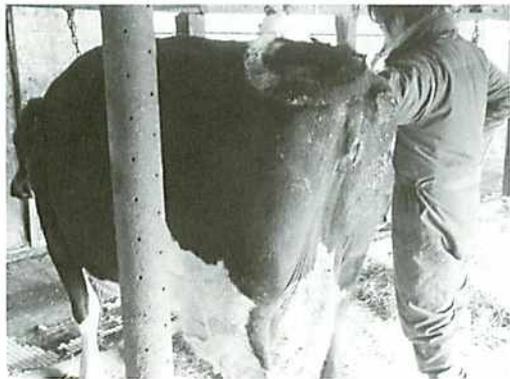
すっかり寒くなってきましたが、皆さん風邪などひかれていませんか？  
しっかりと体調管理に努めて、忘年会シーズン？ に備えていきましょう！

前回、前々回と代謝と栄養素について書いてきましたが、今回はちよつとお休みして、我々が人工授精業務をする上で大切なことを書いていきたいと思います。これは必読です。

皆さんが授精に立ち会われる際に「尻尾を持ってもらえますか？」と言われたことはありませんか？これは我々授精師が単に楽をするためではなく、人工授精という技術を遂行する上で非常に重要な要因が含まれているのです！ご承知の通り現在の人工授精技術は直腸越しに子宮を操作して、外陰部より注入器を挿入して子宮内に注入するのが主流です。よってなるべく衛生的な操作が要求されるのです。

では、ここでなぜ尻尾を持つことが重要なのでしょうか？それは尻尾を持つことで、注入する際の外陰部の汚れを最小限に抑えられることが出来るからなのです。直腸検査で子宮・卵巣の状態を触診する際に、尻尾や外陰部はどんなに丁寧にやっても糞などで汚れるものです。注入する際に外陰部はペーパータオルなどできれいにしますが、尻尾が汚れていて、しかも自由な状態である（尻尾がもたれていない）場合だと、尻尾によって再び外陰部を汚す可能性が大きいのです。外陰部の汚れによ

って、注入器に汚れがついた状態で子宮内に精液を注入した場合、雑菌汚染による子宮内膜炎を起こす可能性があります。子宮内膜炎は繁殖性を著しく低下させる繁殖障害の一つで、主に分娩後に起こることが多いのですが、出来ることなら上記のような形での発症は避けなくてはなりません。特に受精卵移植の場合は、人工授精よりも衛生的な操作が要求されるので、ご協力をお願い致します。



尻尾を持つことで汚れを最小限に抑えます

ここまで書いてきたように、立ち会うという事は非常に大切なことです。その牛の徴候や状態を一番知るのには、やはり畜主である皆さんです。皆さんからの情報は、我々が人工授精を行う上で非常に手助けとなるのです。そして前にも書いたかもしれませんが、もっと我々と言葉のキャッチボールをしましょう！皆さんが日頃、感じている疑問などがあれば気軽に聞いてください！誠意を持って応えていきたいと思えます。最近では飼養頭数も増加傾向にあり、日常の作業も忙しくなってしまうために、昔に比べて畜主さんがなかなか立ち会うことが難しくなってきたのが現状です。

しかしながら中標津町の繁殖向上のためにいまいちど我々と一緒に努力をしていきましょう！

それでは来年も繁殖分野のさまざまなことを書いていきたいと思えますので、あらためてよろしくお祈り致します！

# 「営農・経済事業」の強化を確認

「実践の大会」として  
各組織・人が目標達成  
に向け取り組む

11月25日に札幌で行われた第24回JA北海道大会に、当農協から高橋組合長ら理事5人と女性部長、青年部長が参加、大会のテーマとなった「信頼の絆で創る共生の大地北海道」を目指し、専業農家の多い道内JAが進むべき道として、「営農事業・経済事業」をより強化することを道内各地区より参加した志を1つにする同志2,000人余りとともに、決意を新たにし、北海道農業を盛り立てていくことを確認しました。

この大会、JAグループ北海道がこの大会後の三年間の方向性を決める重要なもので、三年に一度、開催されています。

大会長を務めた宮田勇道中央会長は「本道のJAは組合員の負託に応えるため、JA本来の使命である営農・経済事業の強化を図る必要がある」と挨拶。先に行われたJA全国大会でうたわれた「経済事業改革」ではなく、強化による拡充を図っていくことを強く訴えました。

議事では①「食と農 信頼をはぐくむ北海道農業の展開」、②「組合員と地域の信頼に応えるJA経営の展開」の二項目が決議されました。また、特別決議として①世界貿易機関(WTO)農業交渉と自由貿易協定(FTA)交渉に対して北海道農業に悪影響が及ばないように総力を挙げて訴え続けること。②JA運動を強力に進めるためJA・道連合会への結集を呼びかけることも決定しJAの使命を再認識しました。

## 議案第一号

## 食と農信頼の絆を育む 北海道農業の展開

〔6つの重点目標〕

①生産・流通段階の「安全・安心」の取り組み  
※ブランドの信頼性を高めるために、生産段階では生産履歴の記載や農業の適正使用に努め、加工・流通段階では品質管理・食品表示の自主点検など表示の適正性確保に努める。

②食料自給率向上に向けた取り組み  
※平成十三年度で一八・一%の食料自給率となっている本道、本年八月に国が食料・農業・農村基本計画の見直し作業に着手したことから生産努力目標の改定に向けた本道の考え方の整理・検討をしていく。

③マーケティング志向の生産・販売戦略の推進

※畑作については自然循環機能の十分な発揮に向けて輪作を基本に需要動向に即した計画的な生産と品質・生産性の向上対策に努める。

※野菜については総需要が横ばいで推移する中、輸入野菜の増加が見られる、本道の冷涼な気象条件を生かして安全安心は良質野菜の計画生産、多様なニーズに応える出荷体制整備と新技術導入、生産・流通段階でのコスト低減に努め青果物の需要拡大に取り組む。

※酪農については、EUを上回る大規模経営となっている事を鑑み、環境対策や個別経営体をサポートする地域支援システムを構築し、生乳の安定生産や安全・安心に向けた取り組みを行う。

※畜産物については法律で義務づけられた牛肉のトレーサビリティシステムの推進に取り組み、生産性の高い専業経営または他作目との複合経営による安全・良質な牛肉生産を進める。

④地域農業振興システムを核とした多様な担い手の育成  
※集落や地区、市町村などとの話合いと合意形成に基づき、農業の将来像に関する地域農業戦略を策定すると共に実行していく

⑤公平な貿易ルールづくりと農業経営の安定対策の拡充  
※多面的機能と食料安全保障をうたった日本提案型の実現に向けて、政府の交渉支援と国民・道民の理解獲得運動や海外農業団体との連携強化に努め、WTO交渉決着に備えて新たな経営安定対策の確立に努める。



(写真提供:日本農業新聞北海道支所)

⑥食と農に関する消費者への情報発信と交流

※食と農、J Aに関する国民、道民の理解促進と合意形成を進めるため、農業・農村現場からの情報発信を積極的に進める。

## 議案第二号 組合員と地域の信頼に込めるJ A経営の展開

〔5つの重点目標〕

①組織基盤の強化と地域密着化

※組織集結に向けた教育・対話活動の強化、組合員組織の活性化とJ Aの積極的支援、女性の役割発揮、地域と暮らしに密着したJ A事業の展開など。

②地域農業振興に貢献する営農・経済事業の強化

※営農指導事業の重点化と体制強化、資金相談機能の強化、北海道農業の強みを生かした販売事業の展開など。

③経営健全化対策の強化

※部門別採算性の確立と財務健全化対策、破綻未然防止に向けたJ Aグループ北海道の取り組みなど。

④経営の高度化・信頼性確保に向けた経営管理体制の強化

※業務執行体制の強化、法令遵守（コンプライアンス）体制の確立、J Aの経営戦略に基づいた実戦型人材の育成、第二次情報化戦略の具体的な実践など。

⑤J Aグループ北海道の組織整備

※J A合併の推進、中央会・連合会の組織整備、連合会支所広域化の推進など。

## 道民へのメッセージ

食べ物は人間の存在に無くしてはならないものです。農業は自然のリズムに合わせて生産を行う生命産業であり、同時にうるおいある生活や環境保全への寄与など、多面的な価値を有しております。

農村地域は農業生産の場、地域住民の生活の場であり、同時に多くの国民がゆとりや豊かな自然の恵みを受けられることができる場でもあります。

北海道が制定した農業・農村振興条例には「農業・農村を道民の貴重な財産として育み将来に引き継ぐ」という理念が明記されております。しかし、社会全体が収益性・効率性・利便性を追求するあまり、輸入農産物の増

加と国内農業生産の停滞や縮小の懸念など食料・農業・農村は大きな困難に直面しております。

消費者と農業者、都市と農村、農業と他産業は役割を認め合い相互に恩恵を受けながら共に生きていく社会を目指す必要があります。このため、J Aグループ北海道はより安全でクリーンな農畜産物の生産に全力で取り組む事を宣言します。

道民・国民の皆様！

私たちが一生懸命に生産した農畜産物を、どうぞたくさん食べてください！

多面的機能を持つ農業への深い理解をお願いします。

豊かな自然の恵みを提供する農村に、ぜひ足を運んで下さい！

## 大会宣言

本日、ここ札幌の地に結集した我々J Aグループ北海道の代表者は、第二十四回J A北海道大会を開催し、北海道農業の振興とJ Aグループの組織・事業機能強化に向け、統一した組織の意思決定として本大会決議を採択した。

大きな社会・経済変革の時代において、我々は、自らの原点・理念・強みを見失うことなく、今までの取組みに自信と誇りをもって着実な前進を目指し、加えて北海道としての取組みを全国に発信し、農業に対す

る国民のいっそうの理解を深めることとする。

また、今回大会を「実践の大会」と位置付け、決議事項については各J A・中央会・連合会がそれぞれの実情に応じて達成目標を設定し、責任を持って実践に取り組むこととする。

さらに、J Aグループ全体としての進捗把握を行い着実な前進に向け必要な措置を講じ、決議事項の実践に邁進する。

以上宣言する。

平成十五年十一月二十五日  
第二十四回J A北海道大会

みんなの情報・告知

# 掲示板



## 別海高校農業特別専攻科の 学生募集

【別海高等学校】北海道別海高等学校（石田文彦校長）では、平成十六年度入学の農業特別専攻科生徒の募集を行います。専攻科は高等学校卒業後の後継者や新規就農者が農業に従事しながら酪農経営・技術を学び、仲間づくりや人間的な成長を図ることを主な目的としています。

開講時間は午前十時五十分から午後二時十分まで。朝夕の乳牛管理作業に従事しながらの学習も可能で、農繁期は授業がないため、自家の作業を妨げる事もなく自分の受講したい科目を自由に選択し、先端技術に対応した実践的学習が行えます。

募集要領は下記の通り▼修業年限  
Ⅱ年▼募集定員Ⅱ酪農経営科二十人▼出願資格Ⅱ平成十五年高等学校卒業見込みの者。平成十四年度以前に高等学校を卒業した者。大学入学

## 中標津農業高等学校の 学生募集

資格検定に合格した者。本校学校長が入学可能と認められる者▼出願受付Ⅱ平成十六年一月十四日～一月二十八日正午まで▼検査日Ⅱ平成十六年二月十日、作文、面接▼北海道別海高等学校農業特別専攻科☎015371512053

## 中標津農業高等学校の 学生募集

【中標津農業高校】北海道中標津農業高等学校（奥山清校長）では、平成十六年度全日制課程の生徒を募集します。農業高校は根室管内唯一の農業科に特化した学校であり、生産技術科と食品ビジネス科の二学科制です。平成十六年度は、各四十人を男女共学で募集します。

新しい時代に向け、自分の能力を十分発揮できる人を育てるために、という学校教育目標で、①生産技術科では、乳牛を中心とした家畜の飼育、飼料生産、作物栽培、農産加工・流通、農業経営に至る知識と技術を総合的に学びます。②食品ビジネス科では食品加工・流通、作物の栽培などに関する技術と知識を学んで、地域食品産業に従事するもの及び農業経営者として必要な能力を専門的に育てます。

募集要領は下記の通り▼推薦入学  
Ⅱ平成十六年三月に道内中学校を卒業する見込みの者。出願する動機及

## （有）コーンズ・エコファーム 視察先に

び理由が明確であり学校長の推薦がある者。該当学科に対する適正、興味、関心、学習意欲がある者。▼出願受付Ⅱ平成十六年一月二十一日～二十三日は午前九時から午後四時半まで。二十六日は正午十二時まで。▼検査日Ⅱ推薦入学者は二月十二日。一般入学者選抜、学力検査Ⅱ三月三日、面接Ⅱ三月四日。▼詳細は☎015371812053

【青年部開陽支部】農協青年部開陽支部は十一月の十日、十一日の日程で開陽同志会合同の管外視察に行つて参りました。視察先は、新千歳空港から車で十分程の場所に位置する、「（有）コーンズ・エコファーム」。牛舎施設には様々なコーンズの製品が稼働していました。

搾乳ロボットをはじめ、自動哺乳機やバイオガスプラントなど、最先端の酪農施設に参加者一同関心深く見入りました。その中でも珍しかったのは、デントコーンのロールバックでした。細かく刻んだデントコーンに強力な圧力をかけてロールバックにする機械です。まだ、テスト段階の機械らしく、寒空のもと数名のスタッフで機械を調整しながらの実演を見せてくれました。デントコーンは何度も霜に当たっていたそうですが、

私たちに収穫の実演を見せるために刈り取り時期を延ばしてくれていたそうです。スタッフの皆様は心より感謝するとともに、実りある視察研修となりました。ありがとうございました。（▼記事Ⅱ農政・組織研究委員・櫻井寿治）



試作実演中のデントコーンロールバック機

## 【JA中標津後継者対策協議会】

JA中標津後継者対策協議会の「いっぶくの会」は、十一月十八日、十九日の日程で研修旅行を企画しました。参加者は若奥様達十人と添乗に同協議会の佐藤廣相談員、JAから支部審査役が同行し、（有）コーンズ・エコファームを視察。横山ファームマ

ネーシャーより農場の概要やミルクィングロボット、カーフファイター（自動哺乳）、パイオカスシステム（ふん尿利活用）の説明を受けた参加者は、熱心に耳を傾け質問も多数しました。一泊二日の期間でしたが、参加者同士の交流と意見交換、リフレッシュと有意義な研修となったようです。



## 女性部地区別リーダー研修・家の光大会

【女性部】十一月十三、十四日の両日、地区別リーダー研修及び北海道家の光大会が十勝川温泉にて行われ、当JA女性部員四人を含む道東地区の女性部員ら約六百人ほどが一同に



「いもパン」と「飾りパン」を展示しました



会しました。全道大会と地区別研修とを毎年交互に行っているこの大会は、組織リーダーの育成とネットワーク作りを目的としており、講演会、体験・事例発表や研修などのほか、各女性部による手作り加工品・作品展示なども催されます。

今回、当女性部は手作り加工品出品の当番となっており、役員らの手作りによる中標津産の伯爵いもと牛乳・チーズがぎゅっしり詰まった「いもパン」・「女性部マークの飾りパン」などを出品し、大変好評でした。

この大会に参加することは、地元だけでなく地域外にも目を向けられる良い機会でもあり、見て聞いて感じたことを、今後、更に活気ある自分達の女性部組織づくりに役立てていきたいものです。女性部員のみなさん、来年はあなたが参加してみませんか？

## 畜産協会の経営技術事例発表に遠藤昭男氏

【北海道酪農畜産協会】十一月十三日、根釧農業試験場を会場に平成十五年度畜産セミナー並びに経営技術事例発表会が開催され、根室管内から百人余りの農業関係者が参加、釧路、網走、十勝、石狩などからも多数聴講者が訪れ、俣落の遠藤昭男氏が事例発表に立ち経営概要などを説明しました。



このセミナー&発表会は、経営的に経営コンサルを行う同協会が飼料自給率、共用産次の低下や疾病の多発の結果、生乳の生産原価が高くなり儲かっているとは言えない事例も多

い中で、儲けるためにどうするべきかを地域環境の保全と良質粗飼料の調製、利用といった地域特性を生かした展開をすることが求められることから企画されたもので、経営バランスの良い遠藤氏に白羽の矢が当たったもの。

フリーバーン育成舎と放牧形態、FS牛舎などコストを掛けないように建設した施設関係と遠藤氏の経営理念を、ユーモアを交えた事例発表に会場から笑いがこぼれる一幕もあり、参加者は真剣に聞き入っていました。

## 雪印資料館などを視察 青年部当幌支部

【青年部当幌支部】青年部当幌支部は二十七日、札幌の雪印資料館、日本ミルクコミュニティ札幌工場を視察見学しました。資料館は三階建てで大小様々な展示物がありましたが、残念ながら撮影禁止のため、写真に収めることができませんでした。

一階は事務所と談話室、会議室となっており、二階は収集家が喜びそうな昔使用されていた実物や模型で当時のバターのバターやチーズづくりを表現・展示されており、機械の進歩・作業の進歩が年代別に伺えました。三階は資料を中心とした一室になっており、社名が「雪印」となる以前からの歴史が紹介されています。

た。また、隣接するミルクコミュニティ札幌工場はメグミルクやロングライフミルクなどの製造課程を見学しました。視察に同行していただいた雪印乳業(株)中標津工場の三木保志道東酪農事務所長に感謝申し上げます。撮影不可のため誌面で内部をお伝えすることができませんので、札幌に行った際には事前に予約を入れて視察に訪れてはいかがでしょうか。



## JA青年部が JCCとの交流会

異業種との交流を！」とJA青年部と日本青年会議所(長谷川淳理事長)とJCCとの交流会が十一月十四日に行われ、双方あわせて四十人が参加し親交を深めました。

## 第八回理事会の経過

開催日時 十一月一日

### 〈決議事項〉

- 議案第一号 平成十五年度九月末予算統制について
- 議案第二号 職員組合からの要求(平成十五年度賃上げ)について
- 議案第三号 各種資金の借入申し込について
- 議案第四号 平成十六年度営農計画書作成要領について
- 議案第五号 平成十五年度経営構造対策事業糞尿利活用機械導入に伴う業務要領の制定について
- 議案第六号 ブロccoli導入に伴う固定資産の取得及び農業農村チャレンジ二十一世紀推進事業について
- 議案第七号 生乳毎日集荷者の対応について
- 〈報告事項〉
- 一、平成十五年度九月末信用・共済事業概況について
- 二、平成十五年度生活店舗事業概況について
- 三、平成十五年度九月末購買事業概況について
- 四、平成十五年度九月末人工授精状況について
- 五、平成十五年度酪農ヘルパー稼働状況について
- 六、販売事業の推進状況について
- 七、乳製品工場事業の進捗状況につ

いて  
八、生乳生産について

九、JA共済コンプライアンス点検結果について

十、平成十五年度事業上半期「JAの経営状況に関する事項の報告(モニタリング)」について

十一、新規就農者について

十二、農業用施設補修工事の実施状況について

十三、北海道ホルスタインナショナルショウについて

十四、平成十五年度ルーキーズカレッジ開校式について

十五、High Quality Milk奨励措置実施経過と財源について

十六、畜環リース事業追加配分について

十七、平成十五年度農協有スプレーヤー除草剤散布精算内訳について

十八、畜産環境衛生改善調査結果について

十九、土地利用型酪農推進事業について

二十、十六年産畑作物(でん粉馬鈴しょ・てん菜)の価格について

二十一、十六年度大根出荷報告及びでん原馬鈴しょ第二次出荷契約について

二十二、台風・地震被害について

二十三、農協広域石油宅配センター(JAOC)の取り進めについて

二十四、給油所重油配送車の処分について

## 第九回理事会の経過

開催日時 十一月二十九日

### 〈決議事項〉

- 議案第一号 平成十五年度九月末定例自治監査の回答について
- 議案第二号 建設工事規程の改正について
- 議案第三号 各種資金の借入申込について
- 議案第四号 平成十五年度道営草地整備事業実施に伴う資金借入について
- 議案第五号 高性能糞尿散布機械導入に伴う格納庫の取得について
- 議案第六号 糞尿利活用機械導入に伴う業務要領について
- 議案第七号 重点・指導・地区重点指導組合員に対する家計費供給について
- 議案第八号 平成十四年産共計でん粉の精算について
- 議案第九号 堆肥運搬車(固定資産)の処分について
- 議案第十号 平成十六年度生産振興総合対策事業の取り組み
- 議案第十一号 畜産販売課車輛リース契約について
- 〈報告事項〉
- 一、平成十五年度各種補助事業実績について
- 二、平成十五年度中山間草地整備実績について
- 三、平成十五年産でん原馬鈴しょ出

## 11月の組合日誌

- 1日 第8回理事会
- 4日 CDP研究会2番草精算会議  
定例自治監査～7日
- 5日 融資協議  
企画会議  
女性部記念式典準備
- 6日 乳牛改良同志会役員会
- 7日 BSE事業現地調査
- 10日 税務研修会  
女性部記念式典準備
- 11日 女性部50周年記念式典
- 12日 JA中標津機械利用組合  
青年部農政組織研究委員会  
NSH利用組合2番草精算会議  
協和地区利用組合2番草精算会議  
ルーキーズカレッジ
- 13日 生産総合打合せ
- 17日 トレーサビリティ説明会  
生産総合会議  
青年部農政組織研究発表大会
- 18日 町村合併説明会  
乳牛改良同志会勉強会
- 19日 ルーキーズカレッジ
- 20日 青年部役員会
- 21日 乳牛改良同志会選考委員会
- 25日 融資協議  
ルーキーズカレッジ
- 26日 町予算説明会  
乳質改善カレンダー作成
- 27日 第5回生産委員会  
生食・加工委員会
- 28日 種子委員会  
第6回営農委員会  
馬鈴しょ振興会役員会
- 29日 第9回理事会

## お知らせ

今月号は、「誌上異業種交流」、「酪農ヘルパーの有効活用に向けて」、「私に任せて！」をお休み致します。なお、一月号は一月一日頃お手元に届く予定です。



## 編集雑記

とうとう、平成十五年も最後の月となってしまいました。皆様もあわただしい毎日をお過ごしになっていることと存じます。

さて、今月の普及センターの話ではありませんが、この師走という時期は、今年の実績と来年の計画を行う大切な時期でもあります。自分の一年を振り返ってみると七月の異動の後、さらに加速がついた勢いで半年が経過してしまつたなという心境です。皆さんも自分の一年を振り返った時、どのような思いにな

荷実績について  
四、平成十四年産生食・加工馬鈴しょの精算と平成十五年産の仮払いについて  
五、平成十四年産種子馬鈴しょの精

られるでしょうか？

▼さて、この多忙な十一月の末から十二月の五日にかけて、三つの出張にかけまして同僚に迷惑をかけた。青年部当幌支部の視察研修と酪農ヘルパーモニター研修の同行、JA青年部全道大会への参加同行というもので、ご一緒した皆様には大変お世話になりました。

▼写真は、青年部当幌支部に同行した時、先月号の表紙を飾った長正路さんとJRタワー展望室T38にのぼった時の写真です。タワーは百七十三層で札幌テレビ塔よりも高く、三百六十度ガラス張りのため天気の良い日はまさに絶景。夜間の眺望もとてもきれいではないかと思えました。のぼっていくためのエレベーター内の演出（だんだん照明が暗くなっていく）もなかなかでしたが、男子トイレの豪快さに、また驚きました。ちなみに、男女共用で車イスの方でも余裕があるトイレも大きな窓で見晴らしが良かったですが、女性用は外向きではなく内向きにあるため、眺めながら用を足す事が出来なくなっているそうです。

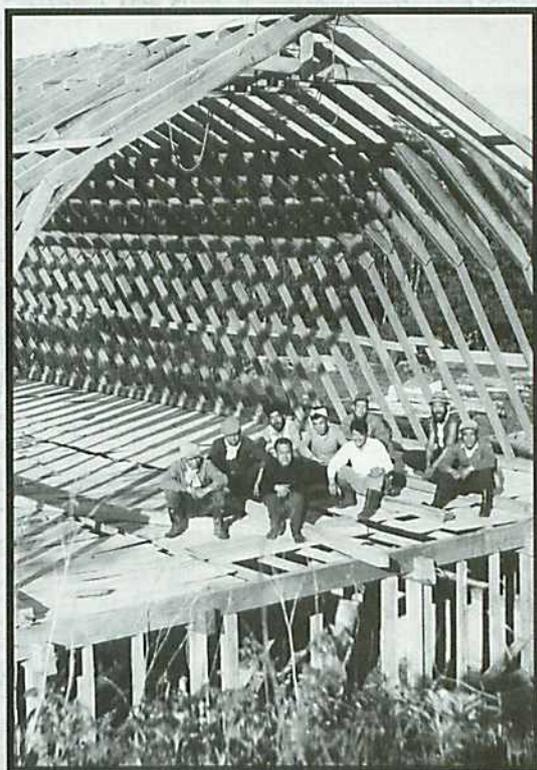
算と平成十五年産の仮払いについて  
六、十五年度原種農場収支見込み及び平成十六年度収支計画について  
七、平成十五年産大根の精算について  
八、平成十五年産ブロッコリーの精

算について  
九、平成十五年産てん菜出荷実績について  
十、平成十五年産その他野菜精算実績について



観覧料九百円が高いか？ 安いかな？ おそらく、札幌在住の人はあまり訪れることがないので、とも思いましたが、「そのコンサート」などと銘打った催しも勢力的に行っているようで、取組み次第で集客増の可能性があることを再認識しました。

## 懐しき古き一枚の写真



昭和40年頃——

佐伯牧場のキング式牛舎を建設中の1枚です。  
昔は、大工さんが1人来て、後は地域の人たちが手伝いで施設を建設することが多かったですね。  
道外の人話を聞くと、北海道の牧歌的な畜舎イメージは赤い屋根のキング式牛舎だそうです。

写真提供 藤井 弘美氏